

感動をデザインします

TWINBIRD

pdf版

マイコン
電気豆乳メーカー
KC-D651
取扱説明書



このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。この取扱説明書をよく読んでから使用してください。不適切な取扱いが事故につながります。この取扱説明書は必ず保管してください。

RX0107E

もくじ

安全上のご注意	1
各部の名称とはたらき	2
使いかた	3~ 7
お手入れ	8
こんなときは	9
アフターサービス 仕 様	10
別売品の申し込みかた	

ご使用上のご注意

ツインバード工業株式会社は、この資料並びにコンテンツの著作権を有しています。

この資料並びにコンテンツは、著作権法等の法律で保護されており、お客様はこの資料並びにコンテンツに関し下記に記載されている条件でのみ利用することができます。

- 1 お客様は非営利目的に限り、ダウンロード、使用することができます。
- 2 お客様がダウンロード、使用するときは、この著作権表示及び使用条件を一緒に付す必要があります。
- 3 お客様は、この資料並びにコンテンツを改変したり、頒布、公衆送信、上映等に利用することはできません。

当社及び当社の関係会社は、お客様に対して、この資料並びにコンテンツに関する著作権、特許権、商標権、意匠権及びその他の知的財産権をライセンスするものではありません。ならびに資料並びにコンテンツの内容についてもいかなる保証をするものでもありません。

またこの資料並びにコンテンツ内に別の定めがある場合は、当該著作権表示、使用条件を厳守する必要があります。

このコンテンツはWeb上で使用を前提とし再編集を加えているため、必ずしも製品添付の取扱説明書とは同一ではありません。特にページ順は編集上、入れ替えている場合があります。

この資料並びにコンテンツに保証書は掲載していません。

この資料並びにコンテンツに記載されている内容は、それぞれの商品の発売時点のものであります。

デザイン、仕様等は商品改良のため予告なく変更する場合があります。

安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

警告



子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わないでください。



けがややけどをする恐れがあります。



水につけたり、水をかけたりしないでください。



水ぬれ禁止

ショート・感電の恐れがあります。



カッター刃は鋭利ですので直接手を触れないでください。

接触禁止



けがの原因になります。



修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。

分解禁止



発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



豆乳を注ぐ時や容器からフタを取ると熱い蒸気が出ます。手や顔が蒸気に触れないよう注意してください。

接触禁止

注意



容器に必ず水を入れてください。お湯を入れると吹きこぼれてやけどの恐れがあります。



交流 100V以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因となります。



プラグを抜く

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。



強制

この製品は豆乳専用です。大豆と水以外の材料は使用しないでください。故障の原因となります。



できあがり直後に続けてスイッチを入れないでください。吹きこぼれてやけどの恐れがあります。

禁止



電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

禁止



使用中の容器に触れないでください。

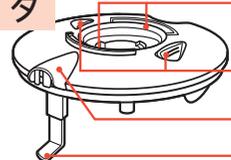
接触禁止

使用中の容器は熱くなっていますので、触れるとやけどの原因となります。

各部の名称とはたらき

容器フタ

センサー接点



つまみ部

取っ手部

センサー電極

ジョイント部

セットした状態



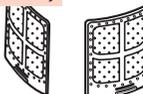
粉碎バスケット



カッター

カッターつまみ部

フィルター(枚)

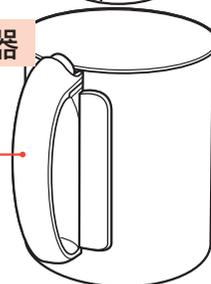


バスケットキャップ



容器

容器取っ手



本体

ドームキャップ

スイッチマーク

スイッチ「切」位置

スイッチ「入」位置

通電ランプ

できあがりランプ

ヒーター

電源コード

電源プラグ

付属品



計量カップ

へら付
ブラシ

こし袋

こし袋ハンドル

こし袋の取付けかた



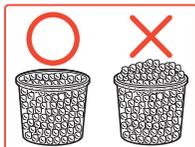
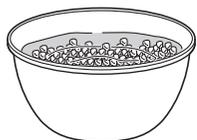
こし袋ハンドル
こし袋の輪の部分
にこし袋ハンドルを
通してセットします。

取付けた状態



使いかた

1 乾燥大豆を計量して水に浸します。

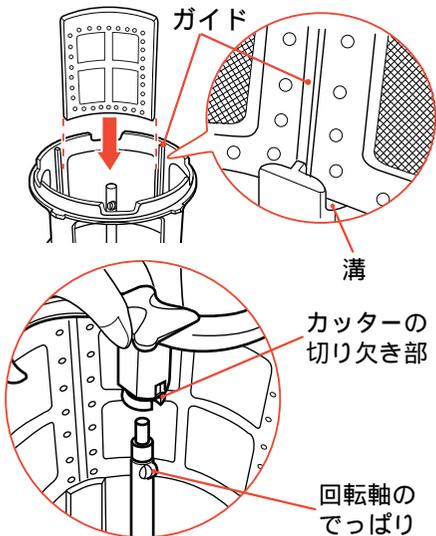


乾燥大豆を付属の計量カップ(すり切り約130g)で計り、洗ってボウルに入れます。乾燥大豆重量の3倍以上の水に5~7時間、冬の冷たい水の場合は8~10時間、大豆表面の皮のしわが取れるまで浸します。

注意

乾燥大豆を水に浸さないと大豆が良く粉碎されず、豆乳ができません。また、故障の原因となります。大豆以外のものや煎った大豆は使用しないでください。大豆は計量カップすり切りより多く入れないでください。一部の大豆が粉碎されない場合があります。大豆は120gより少ない量にしないでください。あまり大豆の量が少ないと動作途中で通電ランプが点滅し、「ピー」という音が鳴り動作が停止することがあります。大豆を浸しすぎないでください。大豆が大きくなり、一部の大豆が粉碎されないでそのまま残る場合があります。大豆は水から出したらすぐ使ってください。水から出して数分たつと大豆の一部が粉碎されない場合があります。

2 水に浸した大豆を粉碎バスケットの中に入れます。



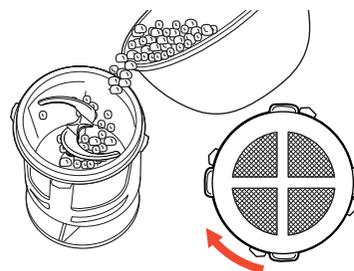
粉碎バスケットにフィルターを取付けます。内側のガイドにそってフィルター4枚を上から入れ、ガイドの下の両側の溝にしっかりと差し込みます。

粉碎バスケットにカッターを取付けます。

カッターつまみ部を持って回転軸のでっぱりとカッターの切り欠きを合わせて差し込みます。そして「カチッ」と音がして固定されるところまで確実に押し込みます。

注意

カッターの取付け・取りはずしには、刃の部分に触れないように注意してください。

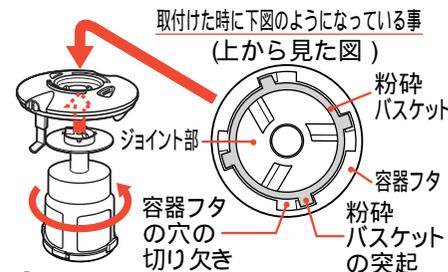


水に浸した大豆の水をよくきって、粉碎バスケットの中に入れます。粉碎バスケットにバスケットキャップをかぶせ、矢印方向に回し取付けます。

注意

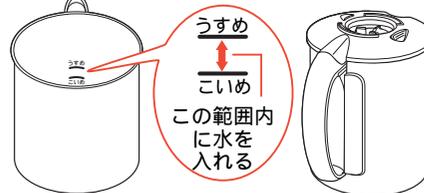
大豆の入った粉碎バスケットに、落下などの強い力を加えるとカッターがはずれることがあります。そのまま使用するとカッターが破損します。力が加わった場合はカッターをもう一度差し込み直してください。

3 粉碎バスケットを容器フタに取付けます。



容器フタの水をふきとり、容器フタの中心に内側から粉碎バスケットのジョイント部を挿入します。粉碎バスケットの突起と容器フタの穴の切り欠きを合わせて挿入します。粉碎バスケットを矢印方向に「カチッ」と固定される位置まで回転させ、取付けます。

4 容器に水を入れ、粉碎バスケットを取付けた容器フタをセットします。



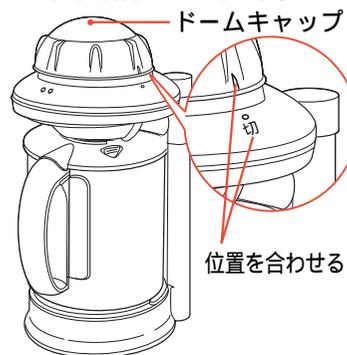
水を容器の目盛りの「こいめ」と「うすめ」の間に入るように入れます。水の入った容器の中に容器フタのついた粉碎バスケットを入れます。容器フタの取っ手部を容器取っ手の位置に合わせてフタをします。

粉碎バスケットが容器フタから外れていない事を確認してください。

注意

△お湯は絶対に入れないでください。吹きこぼれてやけどや故障の原因となります。
△水は「うすめ」目盛りより多くしないでください。多いと吹きこぼれてやけどや故障の原因となります。
水は「こいめ」目盛りより少なくしないでください。少ないと大豆が、良く粉碎されなかったり、故障の原因となります。
大豆を浸した水は使わないでください。豆乳に臭いがつきます。
冬場で水が冷たい時や冷蔵庫に入っていた冷水を使用された場合、動作途中で通電ランプが点滅し「ピー」という音が鳴り、動作が停止することがあります。冷水の場合は、湯を足し、人肌もしくはそれより多少低い温度に調節されると良いでしょう。

5. 容器を本体のヒーターの上に置きま



スイッチが切になっている事を確認してください。本体の前から容器を入れ、ヒーターの中央部に置きます。

容器取手が図のように正面の位置になるようにして、容器が傾いていないこと

注意とお願い

ドームキャップのスイッチマークを「切」の位置に合わせてください。合っていない場合、容器は本体に入りません。ヒーターと容器の底の間にゴミ等の異物が入らないようにしてください。異物が入ると熱が容器に伝わらず、おいしい豆乳が出来ません。

6. スイッチを入れます。



電源プラグをコンセントに差し込みます。ドームキャップを矢印方向に止まるまで回転させ、スイッチマークを「入」の位置に合わせてください。

ドームキャップを回した時、回転がかたい場合や「入」の位置まで回転しない場合は、一度ドームキャップを「切」の位置にもどし、容器を入れなおしてください。無理に回すと粉碎バスケットのジョイント部が破損します。

スイッチが入り、通電ランプが点灯し、マイコン制御で調理を開始します。

カッターは約7分後から回転します。

約30分で「できあがり」ランプが点灯し、「ピー、ピー」とブザー音が鳴り、豆乳が出来上がります。(出来上がりの豆乳温度 約80~95)

注意

- △感電や製品故障防止のために、ぬれた手で操作しないでください。
- △使用中、容器とヒーターは熱くなります。また、容器から蒸気が出る場合があります。やけど防止のため、触れないようにしてください。使用中電源を切らないでください。マイコンでモーターとヒーターを制御していますので途中で電気が切れると、うまく豆乳が出来なかったり、吹きこぼれの原因となります。
- スイッチを入れた直後や動作途中で通電ランプが点滅し「ピー」と連続したブザー音がなった場合は、9ページの「こんなときは」をご覧ください。
- 動作中に粉碎音が変わることがあります。大豆の粉碎状態の変化によるもので異常ではありません。

7. 豆乳を取り出します。



ドームキャップを矢印方向に回しスイッチマークを「切」の位置に合わせてください。「通電」ランプ、「できあがり」ランプが消え、スイッチが切れます。

電源プラグをコンセントから抜きます。容器取手を持って容器を本体から取り出します。

容器フタの上にふきんなどを置き、手が熱くないようにして容器フタを押さえ、容器から豆乳を他の容器に移します。

豆乳を全部移したら、容器フタをした状態で2~3分置いてください。粉碎バスケットから豆乳がしみ出て来て容器に少したまりますので、同様にして他の容器に移してください。

熱いうちに飲みたい時はそのまま飲んでください。冷やして飲みたい時は、さましてから冷蔵庫に入れてください。なま物ですので、早めにお召し上がりください。

できあがった豆乳には、ごく微細なおから分が混じります。気になるときは付属のこし袋で熱いうちにこしてください。使用後は、こし袋をこし袋ハンドルより取りはずし、よく洗って保管してください。



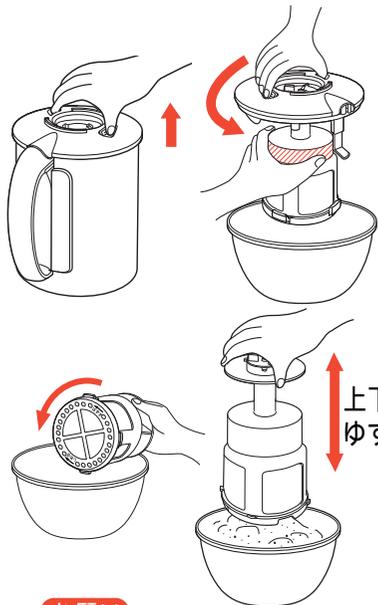
警告

豆乳を注ぐ時や容器からフタを取ると熱い蒸気が出ます。手や顔が蒸気に触れないよう注意してください。

注意

- △電源プラグを抜く時は、必ず電源プラグを持って引き抜いてください。
- △容器とヒーターは熱くなっています。容器取手以外に触れないよう注意してください。
- ドームキャップのスイッチマークを「切」の位置まで回さないと、容器が本体からはずれません。
- 容器は直火にはかけられません。再加熱のときは、別のなべに入れて行ってください。
- 容器から粉碎バスケットを取り出す際に熱い豆乳が滴り落ちますので、お皿等で受けてから移動させてください。
- 容器に豆乳を入れたまま、保存しないでください。

8.おからを出します。(容器が冷めてからにしてください)



容器フタのつまみ部を持って上へ持ち上げます。あらかじめ深めの容器を用意しておき、その上に置きます。

粉碎バスケットがさめてからを図のように斜線部を持って、容器フタを矢印方向に回しはずします。(容器フタからセンサー電極が出ていますので手に当たらないよう注意してください。)

バスケットキャップがさめてから、粉碎バスケットを深めの容器の上で横にし、バスケットキャップを上下にゆすって矢印方向に回してはずします。

深めの容器の上で粉碎バスケットを上下にゆすっておからを出します。おからは料理にも使えます。

お願い

大豆の品質により少量の大豆が粉碎されずに残る場合があります。大豆の量を少し減らすとよく粉碎されて残りにくくなります。

△注意

粉碎バスケットがさめても、中のおからは熱くなっています。手に触れるとやけどの恐れがあります。ご注意ください。バスケットキャップを下にしてはせずと、中のおからが出てきて手に触れる場合があります。必ず横にしてはずしてください。

9.お手入れをしてください。

粉碎バスケット、フィルター、カッター、バスケットキャップ、容器、容器フタをよく、洗ってください。おからや豆乳が残っていると変色や臭いの発生の原因となりますし、バスケットキャップやフィルターの網の目がつまり、大豆がよく粉碎されない原因になります。(お手入れ参照)

次の豆乳を作るとき注意

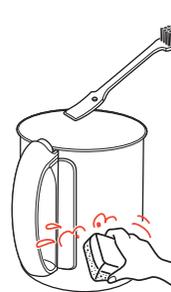
連続して豆乳を作らないでください。故障の原因となります。次に豆乳を作る時は必ず、1時間以上休ませてから使用してください。豆乳、おからを必ず出し、新しい材料を入れてスイッチを入れてください。豆乳を作った後そのままスイッチを入れ直すと、吹きこぼれや故障の原因となります。

お手入れ

お手入れをする時は、スイッチを切り電源プラグを抜いて行ってください。乾かないうちに洗ってください。おからは乾くと硬くなって取れにくくなります。洗った後は必ずふきなどで水気を取り、乾かしてください。ぬれたままにしておくと臭いがすることがあります。カッターやフィルターはぬれたままにしておかないでください。さびることがあります。金属たわしや、金属ヘラ、クレンザーは使用しないでください。食器洗い乾燥器では洗わないでください。変形することがあります。

ご使用されるにつれ、粉碎バスケット・フィルター・バスケットキャップの色が変わりますが、人体に影響はありません。

容器



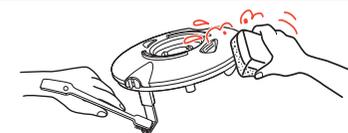
細かいおからや豆乳分が底にこびりつきます。付属のへら付ブラシなどで底のこびりつきをこすって落としてください。内面をたわしなどでこすって豆乳かすをきれいに落としてください。きれいに洗ったら必ず乾かしてください。

粉碎バスケット



必ずカッターをはずしてからお手入れを行ってください。カッターはつまみ部を持ってひっぱると取れます。水をかけておからを流し落とします。フィルターをはずし、粉碎バスケットの内・外面を付属のへら付ブラシでこすり汚れを落とします。プラスチック面はスポンジでこすって汚れを落とします。

容器フタ



外面は水をかけてスポンジで洗ってください。細かい所はブラシで洗ってください。

フィルター・バスケットキャップ

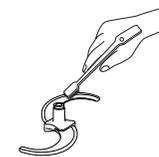


大きなおからは水をかけて流し落とします。網に付いたおからは水を付け付属のへら付ブラシで両面を、良くこすって落としてください。

△注意

網に付いたおからは乾燥すると取れにくくなります。乾燥する前にブラシできれいに落としてください。乾燥して落ちにくくなった時は、ぬるま湯にしばらくつけておいてからブラシでこすってください。

カッター



粉碎バスケットから取りはずし、付属のへら付ブラシで水をかけてこすってください。

△注意

カッターの刃の部分は鋭利ですので手を触れないよう注意してください。

本体



湿ったふきんできれいにふき取ります。水洗いは絶対にしないでください。

こんなときは... ご使用中に異常が生じたときは、まず次の点をお調べください。

こんなときは	原因	処置
容器が本体に入らない。	容器フタが容器にしっかりはまっていますか？ ドームキャップのスイッチマークが「切」の位置になっていますか？	容器フタをしっかりとめまします。 ドームキャップのスイッチマークを「切」の位置にします。
通電ランプが点灯しない。	本体の電源が接続されていますか？ ドームキャップのスイッチマークが「入」の位置になっていますか？	電源プラグをコンセントに差し込みます。 ドームキャップのスイッチマークを「入」の位置にします。
スイッチを入れた直後通電ランプが点滅し、「ピー」という音が鳴り続ける。 (容器の位置検知でエラーになり、動作が停止しています。)	容器が正しくヒーターの中央部に置かれていますか？ 容器が傾いていませんか？	ドームキャップを「切」まで回してから容器を取り出し再度、ヒーターの中央部に置いてください。
動作の途中で通電ランプが点滅し「ピー」という音が鳴り続ける。	容器フタがぬれていませんか？ 乾燥大豆を付属の計量カップすり切りより少なくしていませんか？ 水量が「こいめ」の目盛より少なくありませんでしたか？	容器フタの水をふき取ってください。 乾燥大豆を付属の計量カップすり切りにしてください。 水を容器の「こいめ」「うすめ」の目盛の間に入れてください。
カッター動作初期に多くの泡を検知、又はカッターを動かしているモーターの過熱を検知してエラーになり、動作が停止しています。	冷たい水を使用していませんか？ 「時間以上休ませないで連続して豆乳を作っていますか？」 豆乳を作っている途中で電源が切れませんでしたか？	冬場の冷たい水の場合は、お湯をたし、水温を上げて使用してください。 「時間以上休ませないで連続して豆乳を作っていますか？」 電源を途中で切らないでください。
多くの大豆が粉砕されないそのままの形で、残る。	乾燥大豆を付属の計量カップすり切りより多くしていませんか？ 大豆を浸す時間が短かったり長すぎたりしていませんか？ 大豆を水から出して、放置していませんか？ 水が「こいめ」の目盛より少なくありませんでしたか？ フィルターやバスケットキャップの網の目がつまっていますか？ カッターが外れていませんか？	乾燥大豆を付属の計量カップすり切りにしてください。 大豆を5~7時間、冬の冷たい水の場合は8~10時間大豆表面のしわが取れるまで水に浸してください。 大豆を水から出したら、すぐ使ってください。 水を容器の「こいめ」「うすめ」の目盛の間に入れてください。 網をよくブラシで洗ってください。(お手入れ参照) カッターを「カチッ」と音がして固定される所まで差し込んでください。
豆乳がふきこぼれる。	容器フタのセンサー接点が汚れていませんか？ 豆乳を作っている途中で電源が切れませんでしたか？	容器フタのセンサー接点の汚れをふき取ってください。 電源を途中で切らないでください。
豆乳が熱くならない。	容器に水を「うすめ」の目盛より多く入れすぎていませんか？ ヒーターと容器の間にゴミ等の異物がはさまっていませんか？	水の容量が容器内部の目盛の「こいめ」と「うすめ」の間になるようにしてください。 異物を取り除いてください。

アフターサービス

1.保証書

裏表紙に添付しています。
保証書は「お買い上げ日と販売店名」の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

2.保証期間

お買い上げ日から 年間です。

3.修理を依頼される時

取扱説明書の内容をお確かめいただき、直らないときは電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または「お客様サービス係」に修理をご相談ください。

保証期間中の修理

保証書の規定により無料修理します。商品に保証書を添えてお買い上げの販売店が当社「お客様サービス係」までお申し出ください。

保証期間がすぎている修理

修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店が当社「お客様サービス係」にご相談ください。

4.アフターサービスについてご不明の場合

当社「お客様サービス係」にお問い合わせください。

お客様サービス係
☎(フリーダイヤル) 0120-33-7455
FAX (0256) 93-1077
お電話承り時間: 平日(月曜~金曜) 午前時~午後5時
〒959-0292 新潟県西蒲原郡吉田大字西大田084-2

お客様ご自身の修理は大変危険です。分解したり手を加えたりしないでください。

仕様

電源	AC 100V 50-60Hz
定格消費電力	680W
容量	乾燥大豆: 180mlカップすり切り(約130g) 水: 約0.9L(容器の「こいめ」「うすめ」の中央)
できあがり容量(約)	豆乳: 0.7L
できあがり時間の目安(約)	30分
製品寸法(約)	185x 205x 365mm
製品質量(約)	2.9kg
電源コード	長さ 1.4m
付属品	豆乳健康読本、こし袋、こし袋ハンドル、へら付ブラシ、計量カップ

別売品の申し込みかた

別売品として「豆腐作りセット」を用意しております。お申し込みは直接「お客様サービス係」までお問い合わせください。

KC-AF26 豆腐作りセット
¥3,000(税別、送料別)

セット内容

